

CG アニメセッションで登壇者プロフィール

グラフィニカ 取締役 チーフプロデューサー 吉岡 宏起氏

1996年よりゲーム開発会社のプランナーとしてゲームタイトルの開発などに携わる。

2004年に株式会社ゴンゾに移り、劇場アニメ「ブレイブストーリー」などのCGプロデューサーや、「無限航路」ゲームムービーのアニメーションプロデューサーを務めるなど、数多くの作品制作に携わる。2009年に株式会社グラフィニカに移り、「楽園追放 -Expelled from Paradise-」「ガールズ&パンツァー 劇場版」などの話題作を手掛ける。2014年同社取締役に就任。

サンジゲン 代表取締役 松浦 裕暁氏

株式会社GONZOでCG制作を担当したのち、フリーランスを経て2006年3月に株式会社サンジゲンを設立。様々な作品で3DCGプロデューサーを務め、3DCGで作るリミテッドアニメーションという新しいアニメの表現を確立していく。2013年10月に放送された『蒼き鋼のアルペジオ -アルス・ノヴァ-』でTVシリーズでのフル3DCG作品の制作に挑戦した。

2011年8月にサンジゲン・Ordet・トリガーの3社でグッドスマイルカンパニーらが共同出資したホールディングカンパニーの「株式会社ウルトラスーパーピクチャーズ」を設立。さらに「株式会社ライデンフィルム」という作画スタジオを加え、クリエイティブとビジネスの両面から日本のアニメを見据え、正しくものづくりをして市場を広げることの実現に向けて意欲的に取り組んでいる。

サンジゲン CG作画部 統括マネージャー 瓶子 修一氏

1977年生まれ。20歳にてアニメ制作会社グループTACに所属、ゴンゾ、ボンズとデジタル撮影/エフェクトとしてアニメーション実制作に従事。29歳スタジオカラーに移籍。エヴァンゲリオンをリメイクする際の2dエフェクト周りを担当する目的だったが、「CG部門の部長/プロデューサー職に兼任、移行し、序:破:Qを担当。長期の仕事の合間に、CG部門の宣伝の為、短尺作品の制作をはじめ、圧倒的な品質を背後に他プロダクションの脅威になる。37歳サンジゲンに移籍。CG作画部統括マネージャーとして鈴木大介（作画部部長）と両輪で、制作環境を戦略的に組み立てる。